

平成 31 年 4 月 18 日（木）に、全国学力・学習状況調査が実施されました。乙島小学校でも、第 6 学年で実施しています。国語科と算数科の 2 教科の調査が行われました。なお、この調査は、学習内容全体から出題されていないことや、子どもが身に付けるべき学力の一部であること、学校における教育活動の一側面であり、この調査で子どもの学力全てを表しているのではないということを御留意いただけたらと思います。

- ・ 国語科「話すこと・聞く能力」「読む能力」は、全国平均をやや上回りました。
- ・ 算数科「数量や図形についての知識・理解」は、全国平均をやや上回りました。

国語科では、「言語についての知識・理解・技能」について、同音異義語や同訓異義語など知識問題に弱いという点が明らかになりました。

また、「書く能力」については、字数や条件に合わせて、自分の考えの理由を明確にして意見を書くことが苦手であることが分かりました。

算数科では、「数量や図形についての技能」について、計算のきまり・計算の順序を含めた基礎的な計算問題の定着が不十分でした。また、「数学的な考え方」では、示された計算の仕方を解釈して計算を工夫する問題が全国平均を下回っていました。計算の技能だけでなく、式などの意味理解が必要であることが分かりました。

無回答の問題が全国に比べて低く、記述式の問題にも意欲をもって取り組んでいました。今後も、朝学習や家庭学習で基礎基本の定着を図ったり、日々の授業では考えを説明したりすることに重点を置きながら改善を図りたいと思います。

3 学年から 5 学年もそれぞれ、岡山県学力・学習状況調査を実施し、その結果を踏まえて各学年の国語・算数の定着状況を分析し、苦手なところを克服すべく取り組んでいるところです。子どもの学力向上には、学校での学習と家庭での学習が同じベクトルで進んでいくことで、大きな効果を発揮します。今後とも家庭学習にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。